

# 令和3年度静岡県への移住に関する意識調査の概要

(くらし・環境部 政策管理局 企画政策課)

## 1 調査の概要

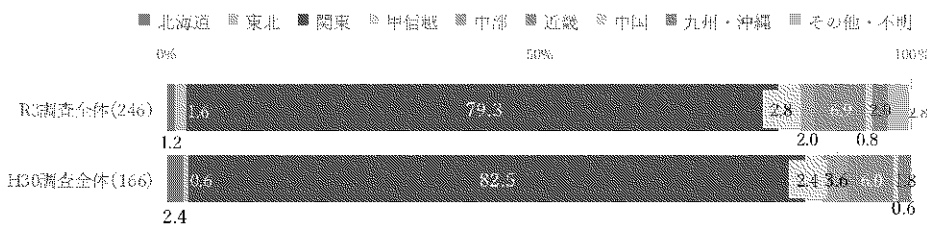
- (1) 調査目的 移住者・移住検討者の意識等を把握し、今後の施策に活用する。
- (2) 調査対象 静岡県内移住者・移住検討者（「静岡県移住相談センター」相談者・メールアドレス登録者等） 1,283人
- (3) 調査方法 インターネット調査
- (4) 調査期間 令和3年7月16日（金）～8月3日（火）
- (5) 回収数 246サンプル（うち移住者 120サンプル）

## 2 調査の結果について

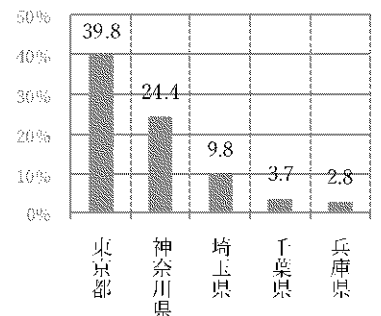
### (1) 移住前の居住地

移住前の居住地は、関東エリアで8割を占め、都道府県別でも東京都が4割、神奈川県が2割以上を占めている。

#### <エリア別>



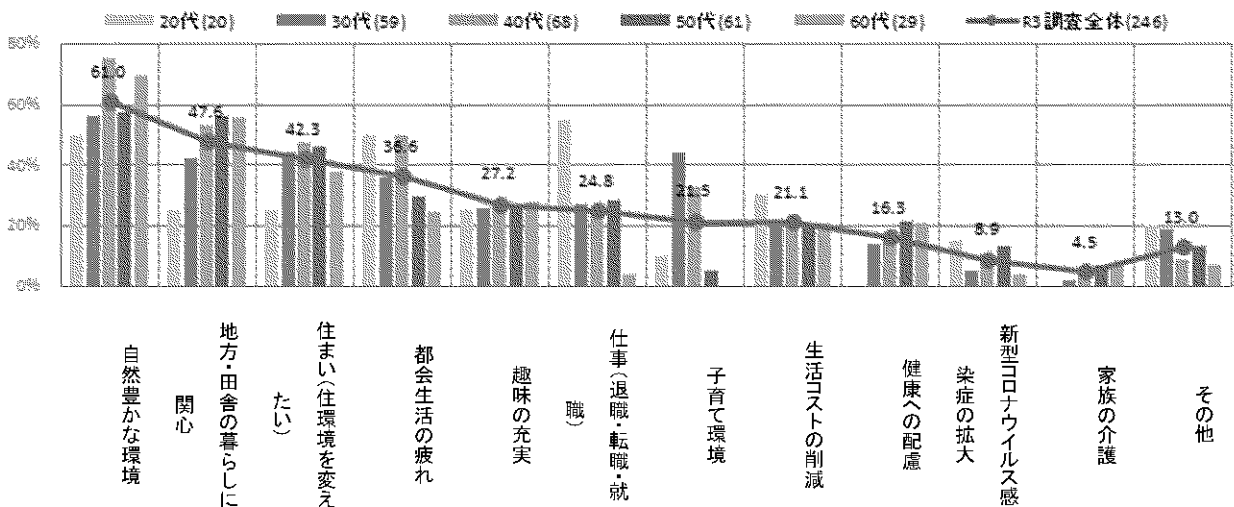
#### <出身地 TOP5>



### (2) 移住を考えた動機（複数回答可）

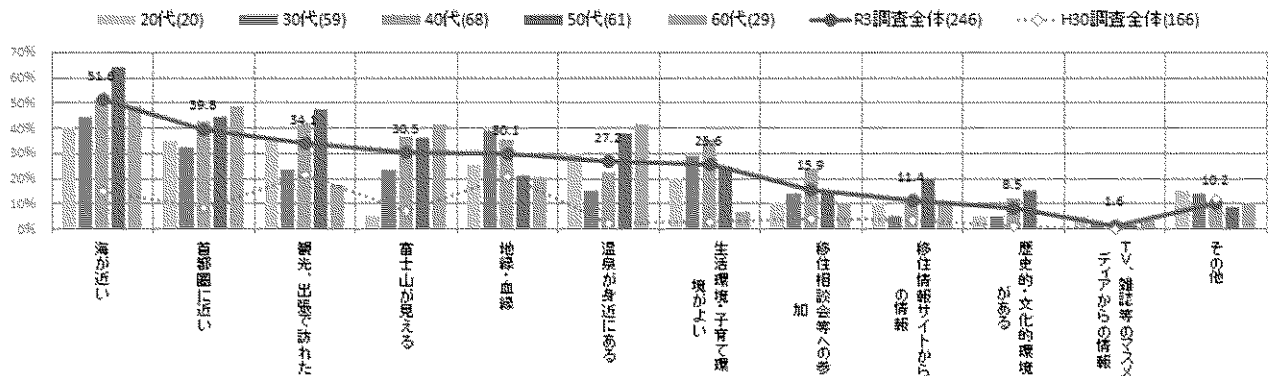
移住を考えた動機については、「自然豊かな環境」(61.0%)、「地方・田舎の暮らしに関心」(17.6%)、「住まい」(12.3%)、「都会生活の疲れ」(36.6%)などが上位項目となっている。

コロナ禍において「新型コロナウイルス感染症の拡大」(8.9%)も動機の1つとして選択されているが、上位項目には入らず「自然豊かな環境」が第一の動機となっている。



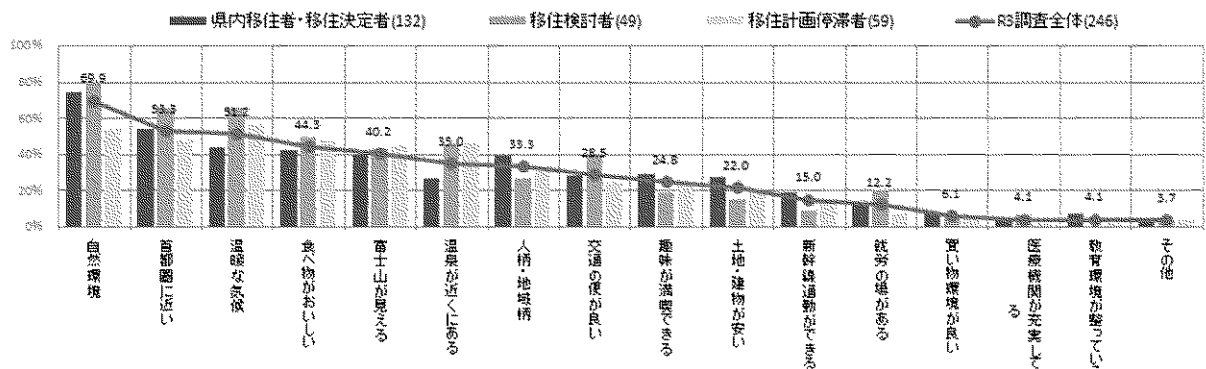
### (3) 静岡県への移住に興味を持ったきっかけ（複数回答可）

「海が近い」（51.6%）、「首都圏に近い」（39.8%）、「観光、出張で訪れた」（34.1%）、「富士山が見える」（30.5%）、「地縁・血縁」（30.1%）が上位項目となっている。「海が近い」は各年代で1位となっており、「温泉」（27.2%）は50代・60代で上位項目となっている。



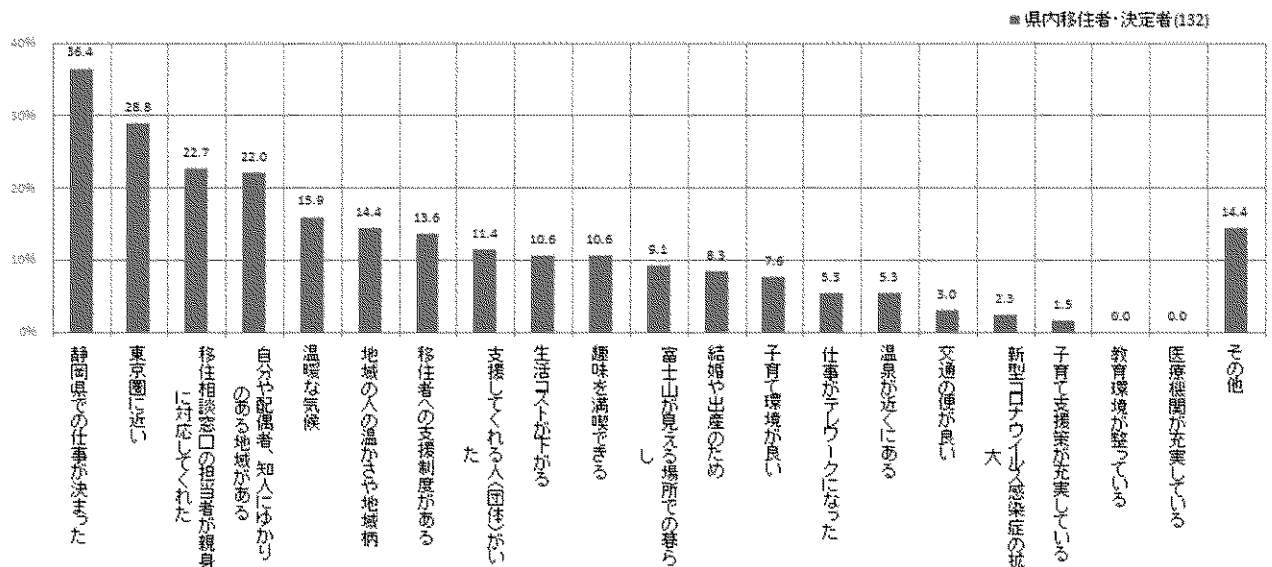
### (4) 静岡県の魅力（複数回答可）

他県と比べた際の静岡県の魅力は、「自然環境」（69.9%）、「首都圏に近い」（53.3%）、「温暖な気候」（51.2%）、「食べ物がおいしい」（44.3%）、「富士山が見える」（40.2%）が上位項目となっている。



### (5) 移住の決め手（上位3つまで回答）

「静岡県での仕事が決まった」（36.4%）、「東京圏に近い」（28.8%）、「担当者が親身に対応」（22.7%）、「ゆかりのある地域」（22.0%）が上位項目となっている。



### 3 自由記述

#### (1) 定住のために必要な支援

- ・もっと求人の選択肢があるとよかった。
- ・安心して移住できるだけの収入を担保できる仕組みが必要である。
- ・車がないと不便なので、補助していただけると助かる。
- ・県外からの移住では、まずは賃貸住宅に住んだ後、数年後に住宅を購入するのが現実的なスキームかと思う。そう考える人が利用できる助成があると移住者が増えるのではないか。
- ・預貯金の少ない人を除き、転居費用や家賃補助で移住を決める人は少ないのではないか。
- ・子どものいる夫婦に着目しがちだが、子どものいない夫婦への支援も必要。働き盛りが二の足を踏む。

#### (2) 移住前のイメージ以上だったこと

- ・家賃が安く、部屋が広い。家を建てることができた。
- ・特産品がないように思っていたが、海産物、果物、畜産など農産物をはじめ飲食店も色々美味しいものがある。
- ・気候が思った以上に過ごしやすい。
- ・海も山も、自然に触れ合え、遊べる場所がたくさんある。
- ・新幹線通勤が予想していたよりも快適である。

#### (3) 困っていること、イメージと違ったこと

- ・車社会で、移住当時、ペーパードライバーだったので苦労した。
- ・思うような仕事に就けない。
- ・ファミリータイプの賃貸物件が少ない。
- ・実際は、空き家が多いのに、物件情報は非常に少ない。